

六本木 高等学校 令和8年度 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象年次組： 第 1 年次 1 組～ 9 組

教科担当者： 松八重 高谷 佐藤 藤原 齋藤

使用教科書： (新編 情報 I)

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けていること。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだすことや、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けていること。

【学びに向かう力、人間性等】 情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身に付けていること。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報社会と人との関わりについて理解している。さらに、効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けている。	問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用している。さらに、様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を効果的に活用している。	情報社会との関わりについて、自ら評価し改善しようとしている。さらに、情報社会との関わりについて考えながら、情報と情報技術を適切に活用しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	情報で問題を解決する 【知識及び技能】 情報社会と人との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を効果的に活用している。 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会とのかかわりについて、自ら評価し改善しようとしている。	・指導事項 ・情報とメディアの特性 ・問題解決の流れ、発想法 ・情報モラル、著作権 ・情報技術の発展、生活の変化 ・情報化、情報社会 ・教材 ・教科書、学習ノート ・ワークシート ・アンケートフォーム ・一人1台端末の活用 ・各種課題の提出時に用いる	【知識・技能】 情報社会と人との関りについて理解できている。 【思考・判断・表現】 問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を効果的に活用できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会とのかかわりについて、自ら評価し改善ができる。	○	○	○	18
	定期考査			○	○	○	1
	情報を伝える 【知識及び技能】 効果的なコミュニケーションの実現のために、コンピュータやデータを活用する方法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとしてとらえ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を効果的に活用している。 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会との関わりについて考えながら、情報と情報技術を適切に活用しようとしている。	・指導事項 ・コミュニケーション手段の変化 ・ネットコミュニケーションの特徴 ・デジタル表現(数値、文字、音、画像、色、動画) ・目的に応じたデジタル化 ・情報デザイン ・教材 ・教科書、学習ノート ・ワークシート ・アンケートフォーム ・一人1台端末の活用 ・各種課題の提出時に用いる	【知識・技能】 効果的なコミュニケーションの実現のために、コンピュータやデータを活用する方法について理解して、活用できている。 【思考・判断・表現】 様々な事象を情報とその結び付きとしてとらえ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を効果的に活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	19
定期考査						1	
後期	コンピュータを活用する 【知識及び技能】 コンピュータやデータについて、それらを活用するための仕組みについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータやデータについて理解し、それらを問題の発見・解決のために効果的に活用している。 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するために必要な態度を身に付けている。	・指導事項 ・コンピュータの仕組み ・ソフトウェアとハードウェア ・演算の仕組み ・アルゴリズムの表現 ・プログラム ・モデル化とシミュレーション ・シミュレーションの活用 ・教材 ・教科書、学習ノート ・ワークシート ・アンケートフォーム ・一人1台端末の活用 ・各種課題の提出時に用いる	【知識・技能】 コンピュータやデータについて、それらを活用するための仕組みについて理解し、活用できている。 【思考・判断・表現】 コンピュータやデータについて理解し、それらを問題の発見・解決のために効果的に活用して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報と情報技術を適切に活用するために必要な態度を身に付けることができている。	○	○	○	19
	定期考査			○	○	○	1
	データを活用する 【知識及び技能】 データの活用について、それらを活用するための仕組みや特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 データの活用について理解し、問題の発見・解決に向けて、適切かつ効果的にデータを活用している。 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会との関わりについて考えながら、情報と情報技術を適切に活用するために必要な態度や力を身に付けている。	・指導事項 ・ネットワークとインターネット ・サーバとクライアント ・情報セキュリティ ・データの形式 ・データベースの活用 ・データモデル ・データ分析 ・目的に合わせたデータの利用 ・教材 ・教科書、学習ノート ・ワークシート ・アンケートフォーム ・一人1台端末の活用 ・各種課題の提出時に用いる	【知識・技能】 データの活用について、それらを活用するための仕組みや特徴を理解し、実際に活用できている。 【思考力、判断力、表現力等】 データの活用について理解し、問題の発見・解決に向けて、適切かつ効果的にデータを活用できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会との関わりについて考えながら、情報と情報技術を適切に活用するために必要な態度や力を身に付けることができている。	○	○	○	18
定期考査			○	○	○	1	
合計							78